



八月十五日夕刊

愛兒を死なす (五)
島田忠夫

一昨年亡くなった島木赤彦氏にも、愛兒を悼む歌がある。先生の名を「アララギ」とは、又よく世の知る所である。先生は信州に生れ、同じく故山に病を得て逝かれた。左の一聯の歌は長男政彦氏を悼む歌である。

逝く子
ひたすらに而わまもれり悲しみの心しばらく我におこらす

硝子戸の外のもに星は照り満てり たちまちにして我が子はあらぬ

幼なきより生みの母親を知らずして逝くこの子の顔をながめつ

田舎の帽子かぶりて来し汝れをあはれに思ひおもかげに消えず

枕べに幾夜をとほし疲れたる心やすまり今日涙出づ

父われを時のますらも口に呼び今もよぶかも物書きてあれば

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に読める
川崎巡文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書準)

蓄音器・貴金屬
會田時計店
平町四(電三六三)

肉聲其まゝの高級
ビクターレコード枚「5」錢
日本物と音楽
蓄音器針は
ビクター針先 35 錢
一度御試聴下

御新益提灯

御注文(御戒名入)は
絶無他店ノ追従ヲユルサス

品質本位
廉價第一

杉ノ澤 寺田提灯店
三丁目 叶・加藤提灯店
四丁目 スガノヤ提灯店
電話七二二番 加藤提灯店
兼田町 御用命ノ程御願申上ゲマス

君は、いゝ型の洋服を求めたねい 眺かへ?

いや君コレはいや君コレは例の「ソレ」

正札堂

堂札正

店よき
5丁目

夏の御用意
帽子
扇子
御用命は是非

刊列
電話三五三番

病淋 毒梅毒

病人婦門專病膚皮

話電院病村松町南平
七〇一

御進物には
ヤマフルの商品券が一番

醬油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話(營業部)一〇番
(醸造工場)二七番

夏期謝恩大興行 (目週四第)

八月十六日ヨリ寫眞差替へ

◇尾上多見太郎獨特の大作品◇
助演 淺野雪子、金子弘、岡崎晴夫

無宿の大名
成功を夢見て悪代官に亂打された使奴の徳平は世の風潮に乗じて勤王一方の將となる無宿の大名

◇日活得意の現代劇、監督 田阪具隆◇
三樹豊、瀧花久子、神戸光、大崎史郎

しやほん娘
しやほん娘にや親がない、母に逢ひ度さ風船乗り、劇中劇にはホト、ギス、それ以上の悲劇は何か

◇日活作品◇
猛優松平鶴之助主演
昭和三年度猛演努力超作品
實川延一郎、嵐耳松郎、秋月信子、中村英雄

雙俠
薩摩劍兒
牙腕の俠半が七人組を仆す……名妓萬壽の義侠右手に妻の仇左に萬壽の仇……義劍見事に

舊盆まで料金改定普通席金拾錢

土曜日學生デー
高級
常設

内科 小兒科 花柳科 (需應院入)

藤沼醫院
電話五〇七番

石城町村長會支部では十四日午前十時から舊郡役所に臨時總會を開き御大典奉祝については郡下の全小中学校の生徒が旗行列と提燈行列をなし他の諸團體も大団右に準じて計畫させ同記念事業は各町村が今日に至るまで参考書類その他を各十點以上出品し平町に自治展覽會を開催することになった

郡下の全生徒が旗と提燈の行列

各町村の参考資料展覽 石城の記念事業

去月 製炭激減 降雨の爲めに 濱三郡木炭同業組合に於ける去七月中の製炭額は石城四萬八千七百三十一俵双葉三萬九千三百三十一俵相馬一萬三千〇九十四俵合計十萬一千五百五十六俵で前月に比し約一千俵の減少で組合創立以來の製炭減である原因は去月中降雨の爲め製炭作業が困難に陥つた結果である

あると 白水五人殺しご 居宅圖通り同様 石城郡平窪村高嶺小野高義一家五人の慘劇事件に就て平署係官は例に依り同家を圖取りした上之れを昨春同

喧嘩相手を追駆け 恨みのステッキ

前額部を殴り付く 石城郡玉川村生れ同郡湯本町八仙居住入山炭礦坑夫小泉林平(三)は十三日午後十時頃自宅に於て飲酒し同僚

增加運動 平郵便局にて 御大典記念に 平郵便局では御大典記念事業を考究中だつたが今年年金貯金の増加を計ることに決定し十月早々關係局長が總出動して奨励に努めるはずだが豫定口数は約千口で同局の郵便金額は福島局に次いで縣下第二位であつたが幣城銀行の休業で最近激増し右の記念貯金が豫想通りの効果を收めれば縣下第一位になる

鐵道省の木工所 平町か郡山に

新設置の豫算を計上 郡山は既に運動開始

鐵道省は豫てから宇都宮以北の地方に木工場を新設すべく種々調査中の處建設に決定既に豫算も計上され来る議會に提案審議されるばかりとなつたが敷地は未だ決定せぬが 大体に おいて本縣平町か或は郡山市が最も有望らしく郡山市は既に鐵工場もあり運動如何によつては平町よりも一層有利な情勢にあるので郡山市は先頭秘密に市會協議會を開き招

天候堅實となり 米價は再び下向

一般からの見込

本縣領通りの天候は愈々堅實なる回復を見せ海も岡も漸く景氣立つて來た此分では稲作も憂ふる程の減收はないらしく之れが爲去一日二日の兩日に一躍二圓を昂騰したる一石卅一圓七八十錢の米價は再び下向の模様を示し石城地方に於て約一萬二千石と云はれる主として地主持米は天候不順の見越高と凶作を豫想する備荒米の關係で手放されなかつたものが動いても來やうし先月末の一石廿九圓五六六十錢迄相場は逆戻りものと一般から見込まれてゐる

光榮の田卷家

五人の軍人を 出し表彰さる

一家から五人以上の現役兵を出したものを今秋の御大典に表彰をなすべく福島聯隊區司令部では各町村に依頼し調査中であるが 平町二丁町田卷酒造之助長男歩兵伍長榮一(三)二男歩兵上等兵誠司(三)三男輕重兵中尉欽一(三)四男歩兵一等卒盛一(三)七男歩兵上等兵悅次(三)の一家五人が兵籍にあるので平町役場では直ち 上申したがる御大典には名譽ある表彰を受ける事になつた



かほつた漬物

胡瓜の稍々末生りを取り、蕃椒と共に薄鹽で鹽漬となり軽い壓石を置き水が充分上つた時取り出す、縦に一面を切り開き、中身を丁寧に取り去り一方より固くまき竹の皮の裂いたものでよくまきしめぬか五升鹽一升の割合で澤庵の様につけ十五日を経り用ひます、壓石は重いのが良いのです、用ゆる時はぬかを洗ひ落し竹の皮を解き去り、小口より切つて用ふるとな

勿來校落成

本月末工事終る 石城郡勿來町でさる大正十四年から繼續事業として工費十萬圓を投じて移轉新築中であつた小學校々舎は最末までの竣工事となつてゐる

明年執行さる 石城町村會議員

改選の投票日

明年執行さるべき石城郡下各町村會議員の選舉投票日左記の如くである 五月三十日泉村△同三十日渡邊村△六月二十九日楠田町△六月二十九日五日山田村△五月三十日錦村△七月四日勿來町△六月五日上遠野村△同十七日入遠野村△同二十七日日川部村△五年八月一日田人村△同八月一日荷路夫村△同八月三日貝泊村△同八月四日石住村△五月三十日平町△六月一日飯野村△同五日高久村△同十二日豊間村△同一日江名町△同二日鹿島村△同十七日小名濱町△同二十九日玉川村△五月十三日湯本町△五月八日内郷村△六月二十七日好間村△七月一日赤井村△六月六日永戸村△同七日箕輪村

製氷會社設立

郡南有志が

石城郡勿來川部錦地方の各町村有志が發起となつて設立計畫中である常磐製氷株式會社は資本金三萬五千圓で一株廿圓全額拂込とし目下株式公募中で本年中に設立操業に着手される筈で工場は川部村に設置し小川江筋を利用してタービン機器

無斷で遊びに 籠の鳥が

平署でた目玉

平町鎌田遊廊甲子樓娼妓羽衣(三)艶絹(三)綾波(三)小紫(三)の四名は去る五日土用の丑の日に警察署へ無斷で新舞子へ遊びに行つた事發覺本日平署に召喚さる

募株盛況

滿株間近

片倉製氷株式會社で創立事務所を元石城郡役所内に置き株式募集に着手したが公募株は既報の如く一萬株で來る九月十日を以てしめ切ることになつたが目下の應募株は七千株に達ししめ切りまでには滿株になる

募集

文藝其他投稿を募集します

であらうと稍々樂觀の体だが和田創立委員長外發起人委員は日夜奔走し募株に全力を集注してゐる 瓜の粕漬——未熟の小さな直徑一寸乃至二寸五分位のものを少しからめに鹽漬となし水が上つた時取り出し水気を去り粕に漬込みの粕に味淋を加へたものに漬替へ二ヶ月程経てから食べます